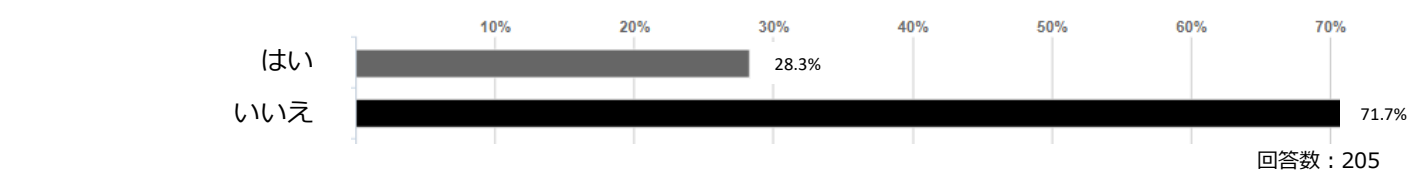


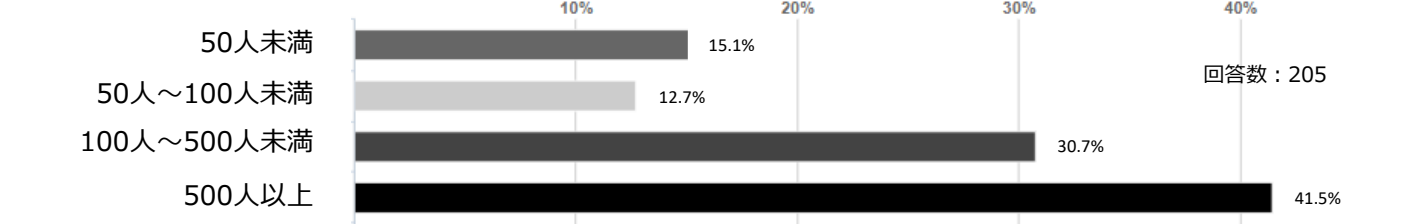
結果サマリー

- DXについて、既に取り組みを行っている企業は7割超。今後3年以内に、「積極的に対応する」「他社や市場状況を踏まえ対応する」は9割を超え、今後の取り組みの一層の進展が見込まれる。(Q2、Q4)
- 現状の取り組みでは、「既存ビジネスの変革」のうち、「社内で行われている現状の業務プロセス全般の変革 (78.8%)」が最多で、今後の拡大項目とも一致。多くの企業が、足元の取り組みの水準を高めていく方針 (Q3、5)
- DX取り組み企業の60%が、DXを用いたビジネスストーリーやビジョンを経営方針に反映した (またはする予定) (Q6)
- 今後の取り組み拡大項目では、特に「社内で行われている現状の業務プロセス全般の変革 (75.5%)」が実施されている。DX意義や重要性の理解について、経営層と現場の理解に乖離がある様子。全社的な推進に向けては、部署横断的な組織の役割が期待されている。(Q8、9)
- 他社との連携については、自社+パートナー企業が中心、セクターを跨ぐ連携は限定的であった。(Q10)

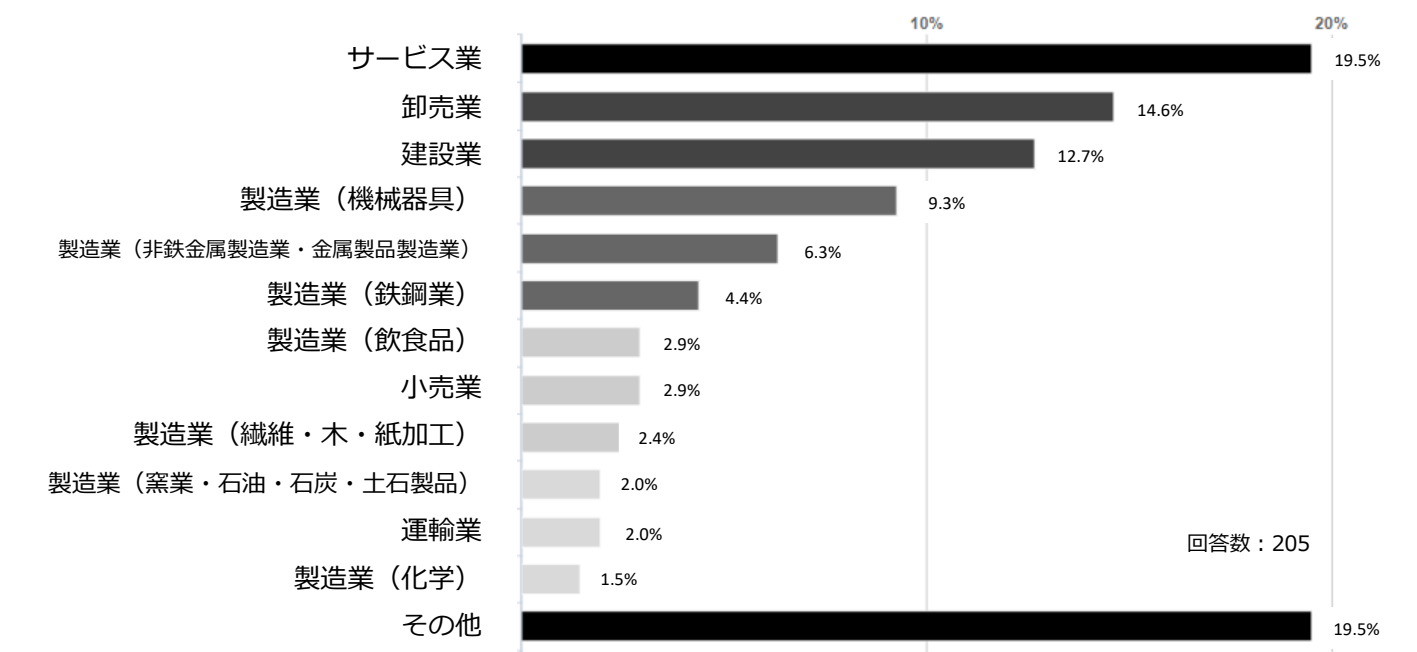
Q1-2. 中部経済同友会 DX推進委員会に会員登録している (または登録予定) (単一回答)



Q1-3. 従業員数 (単一回答)



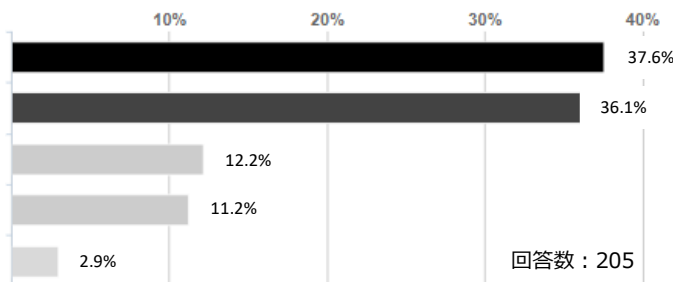
Q1-4. 業種 (単一回答)



Q2. 自社における DX認知度・対応状況

(単一回答)

DXについて一部の部門で取り組みを行っている
DXについてすでに全社規模で取り組みを行っている
DXについて現在取り組みを検討している
DXの内容は理解しているが、取り組みの検討にまで至っていない
DXという言葉は聞いたことがある程度である



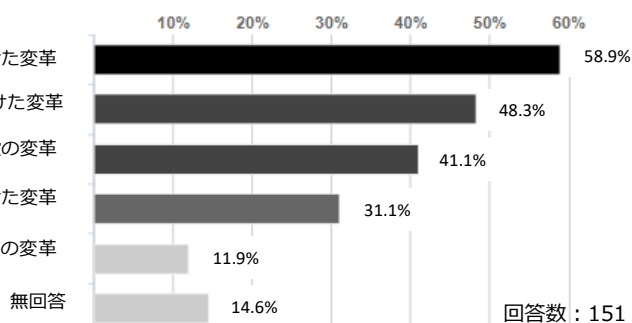
半数以上が既にDXの取組みを進めている

Q3. (Q2で「一部部門、または全社規模で取り組みを行っている」を選択した方のみ) DXについて、現在の取組項目として当てはまるものをすべてお選びください。

(複数回答)

革新的な生産性向上

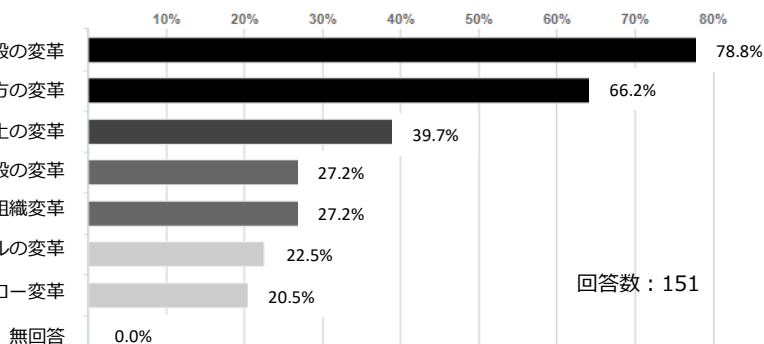
製品やサービスの製造・創出プロセスにおけるデータ分析やデータ活用に向けた変革
製品やサービスの製造・創出プロセスにおける自動化や無人化などの効率化に向けた変革
製品やサービスの製造・創出プロセスの工程（フロー）全般の変革
製品やサービスの製造・創出プロセスにおける高品質化に向けた変革
設備管理やシェアリングエコノミー（遊休資産の活用等）の分野での変革



生産性の向上に向け、主にデータの利活用が検討されている

既存ビジネスの変革

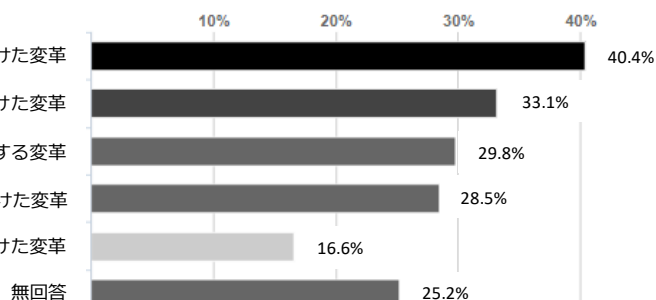
社内で行われている現状の業務プロセス全般の変革
オフィスや現場での働き方の変革
社内コミュニケーション等の企業文化や風土の変革
製品やサービスの販売先や販売方法全般の変革
意思決定プロセスなどの制度・組織変革
そもそもの今のビジネスモデルの変革
事業やスキル継承におけるフロー変革



テクノロジーを活用した、効率化が中心

新規ビジネス創出

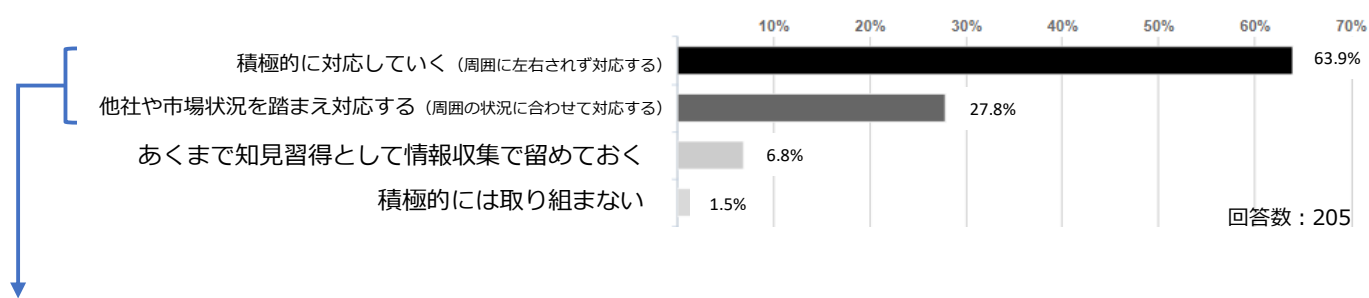
製品やサービスの新たな顧客接点の構築に向けた変革
製品やサービスのマーケティング（分析・プロモーション）活用に向けた変革
製品やサービスの研究開発における創造性向上に対する変革
製品やサービスの新たな販売チャネル構築に向けた変革
製品やサービスの創出・販売におけるグローバルでの更なる協業に向けた変革



テクノロジーを活用により、顧客関係を見直す動きが中心

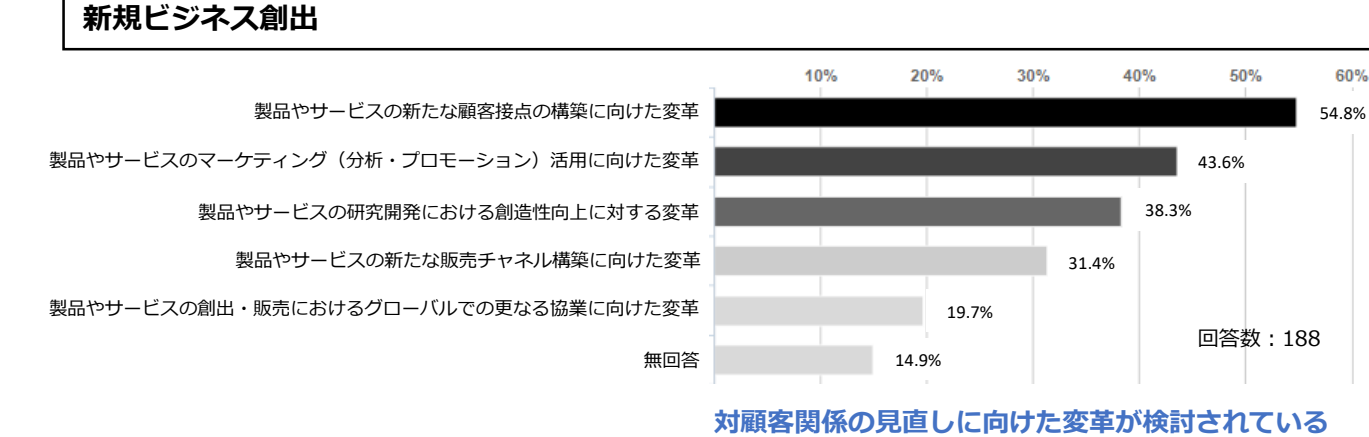
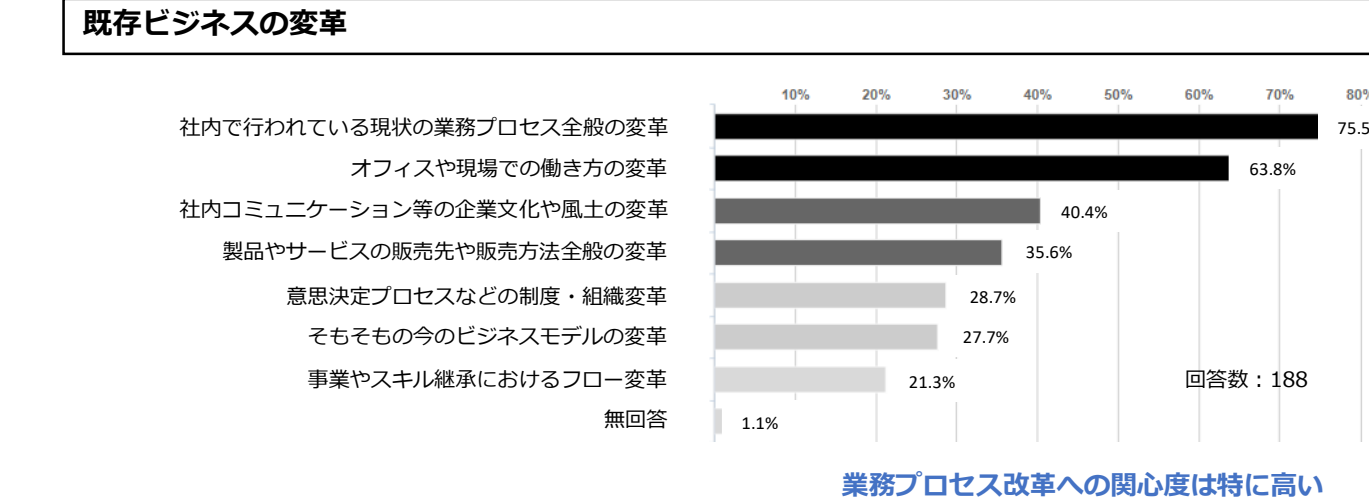
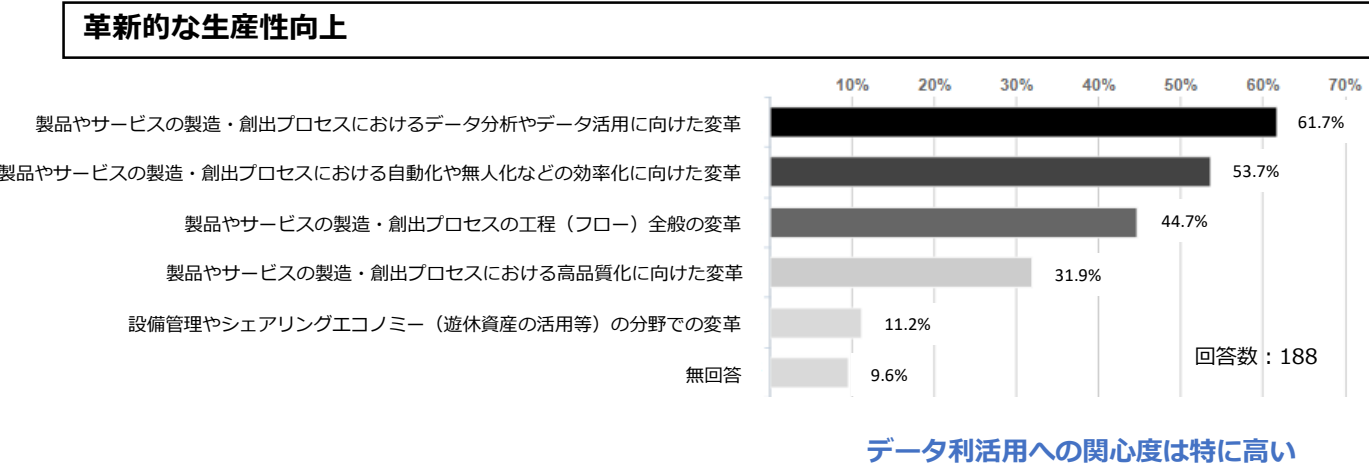
Q4. DXについて、今後3年以内にどの程度、貴社で取り組むべきとお考えですか。

(単一回答)



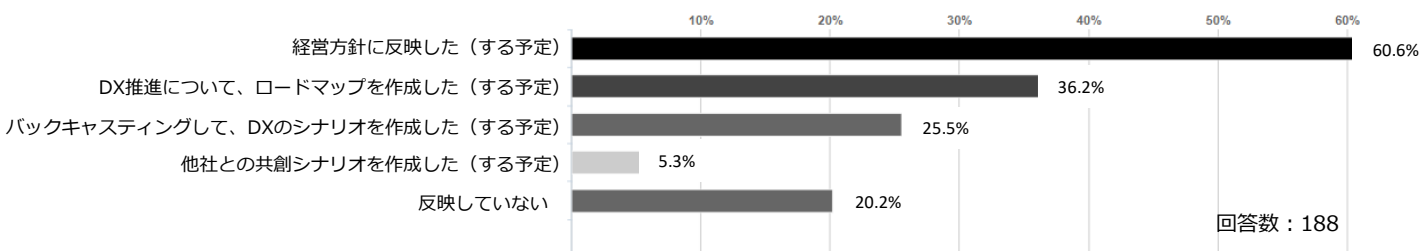
Q5.（Q4で「積極的に対応」「他社や市場状況を踏まえ対応」を選択した方のみ）
今後取り組みを拡大する（したい）項目をすべてお選びください。

(複数回答)



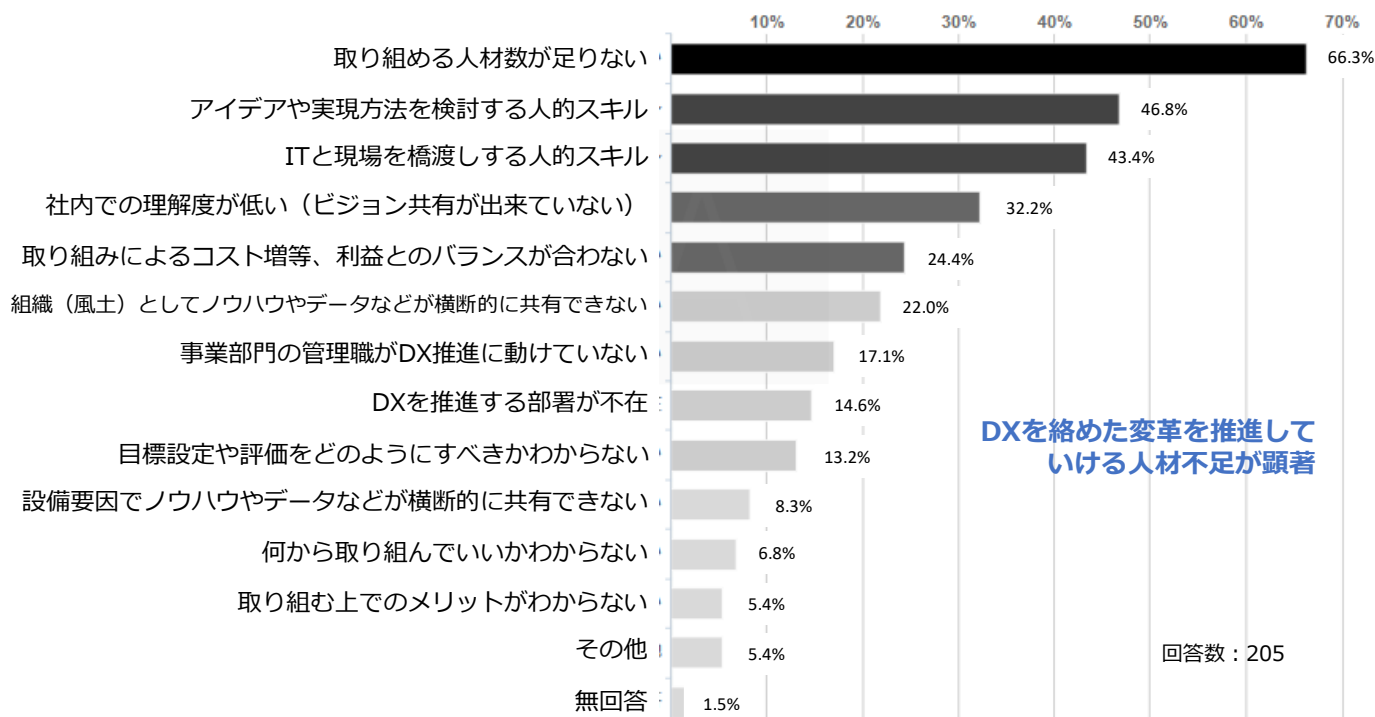
**Q6. (Q4で「積極的に対応」「他社や市場状況を踏まえ対応」を選択した方のみ)
DXを用いたビジネスストーリーやビジョンについて、経営戦略への反映状況は？**

(複数回答)



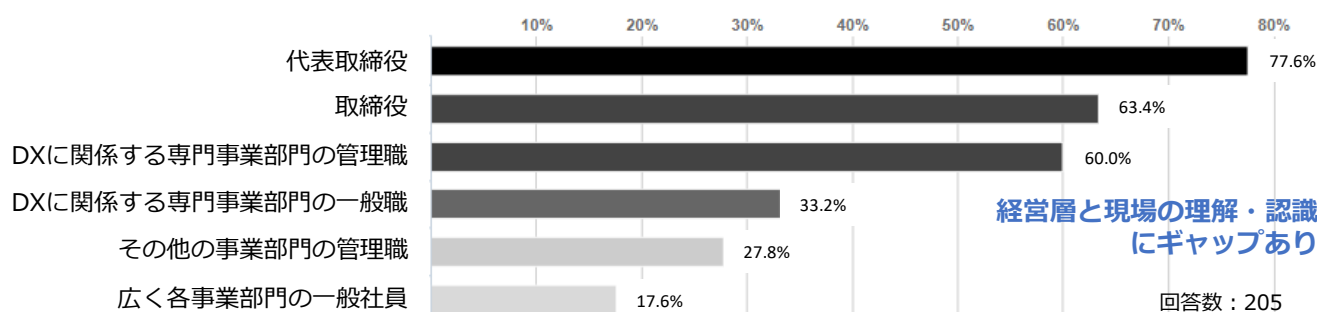
Q7. DXに取り組むうえで、自社で抱える (想定される) 課題は？

(複数回答)



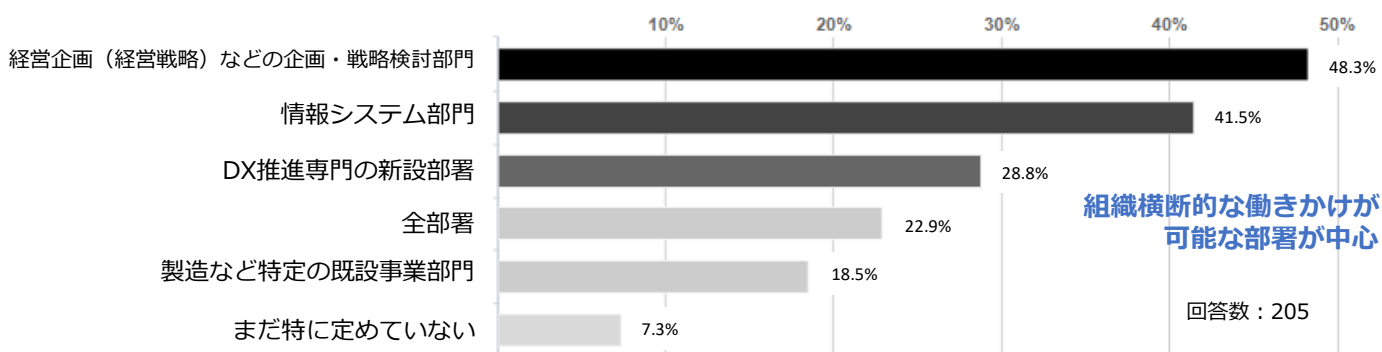
Q8. DXの意義や重要性に関して、自社でどの層まで浸透していると思われますか。

(複数回答)

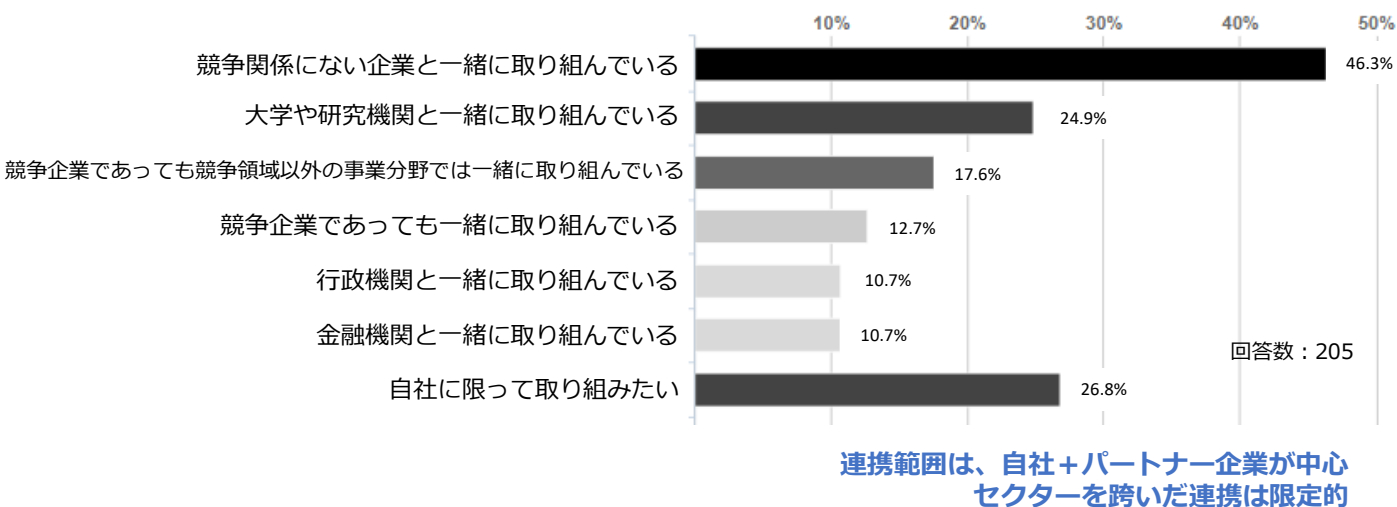


Q9. 自社において、DXを主に担っている (これから担う) 部門は？

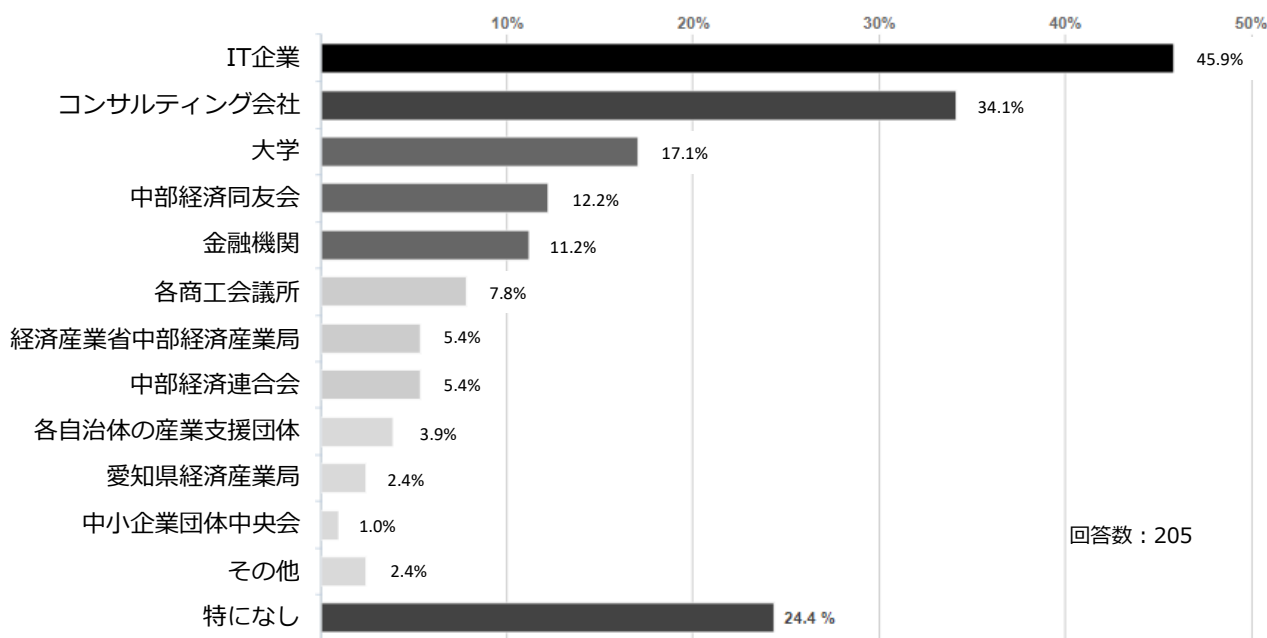
(複数回答)



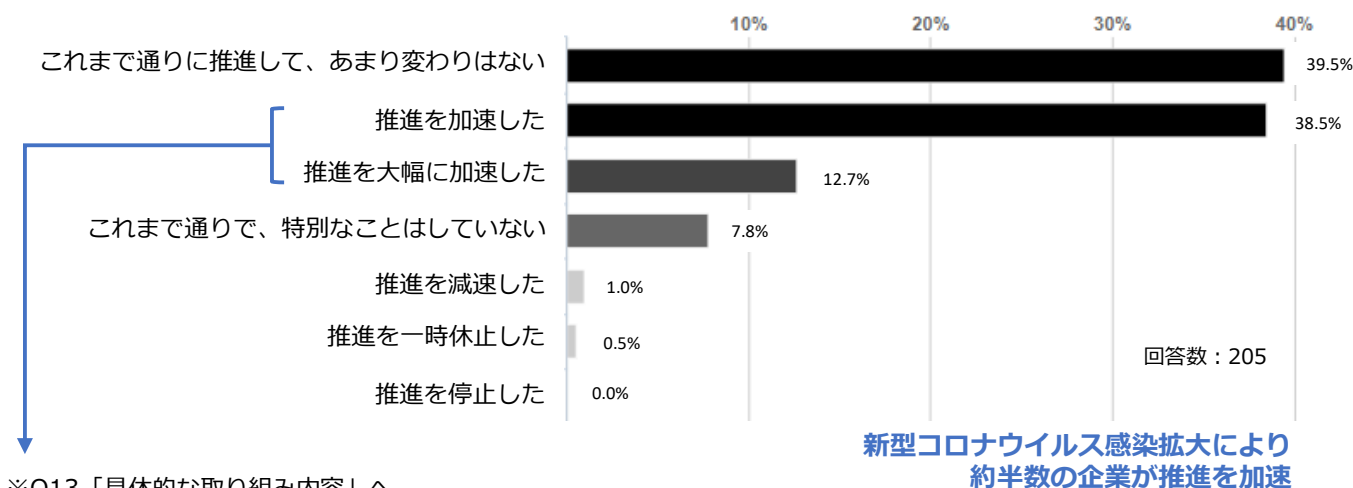
Q 10. DX推進のための「他社との連携」に関して、現状または今後の想定を教えてください。（複数回答）



Q 11. DX推進や人材育成で活用している外部機関（団体）を教えてください。（複数回答）



Q 12. 新型コロナウイルス感染症拡大による、DXに関する推進速度に変化はありましたか。（単一回答）



※Q13「具体的な取り組み内容」へ

Q13. (Q12で「推進を大幅に加速した」「推進を加速した」を選択した回答者のみ)
具体的に、どのような内容に取り組まれたかをお聞かせください。

ビジネスモデルの変革

- 新ビジネスモデルの検討、チャレンジ
- 予定していたビジネスモデル抜本変革の加速と実施内容の絞り込み

**ビジネスモデルの変革に至る
取り組みは限定的**

営業・マーケティング

- 購買プロセス改革 営業プロセス改革
- 営業部門に営業DX推進部を設置して、営業活動、販促活動等のDX化を推進
- 顧客との接点構築と事務処理の自動化にDXを活用
- 非対面・非来店サービスの充実
- 営業・販売促進活動のDX化を推進する専門部署を新設
- 1年前倒しでスマホで手続きを完結させられるようにした

リモート（在宅・遠隔）ワーク

- テレワーク・リモートワークの環境整備
- 在宅勤務対応含む人事制度の見直し
- リモートワークの範囲拡大（人事異動時の物理的移動の最小化）
- ペーパーレスの完全実現 リモート出社 DXステートメントの確立
- 生産準備や開発などの遠隔操作など
- リモートワークの推進と情報共有システムによるデータ共有の促進、社内システムへのリモートアクセス拡充のためのセキュリティ強化・利用者へのセキュリティ教育の強化
- 持ち出し不可であった自席用ノートPCを持ち出し可能にできるようなセキュリティ対策を行った
- 緊急事態宣言下では出社率ほぼ 0%を実現し、現在（まん防解除下）でも全社で10%台をキープ。また、20世帯ほどが郊外への移住をすませ、完全在宅勤務も可能
- 教育現場におけるWeb教材作成、研究室の教員と学生との連携にTeamsの活用が活発に行われた。在宅勤務にしても、全日、在宅勤務が可となり、必要があれば端末の貸し出しも行われた

コミュニケーション

- ウェブ形式のミーティングの浸透
- 海外、米国、英国在住のパートナーとTeamsなど使ってプロジェクトを進め、プロジェクトの期間を短縮
- e-learningの拡大、会議のスリム化および、Teams利用などの常態化

業務プロセスの見直し

- RPAを活用した省力化
- ワークフロー照査の徹底
- 業務プロセスの効率化及びデータ活用

**働き方や業務プロセスを見直し生
産性を高める取り組みが中心**

社内インフラの整備

- パソコンやタブレットの必携化。遠隔での業務執行体制の整備・実行
- 全社員へPCとスマホ支給、グループウェア導入、メール・スケジューラー活用、電子決済導入
- ERPの変更
- ipad、iphone等の機器導入加速、Zoom、Teamsの標準化

電子化・ペーパーレス

- FAXのペーパーレス
- リモートワーク推進の為にペーパーレス化
- 電子決裁、勤怠管理、業務システム
- 電子印の導入
- 印鑑の廃止
- 社内稟議のシステム化によるペーパーレス化と時間短縮

情報への期待

- 間接部門や事務部門でのDX活用事例をご紹介頂きたい
- 先進事例に関する情報共有を期待しています
- 他企業の優れた取り組み事例の共有化
- 個社では知りえない広い範囲での情報・事例
- 他社の取り組み事例を紹介していただけるとありがたいです
- 他社の取組状況につき、教えていただけると助かります
- 事例を紹介頂けると助かります
- いろいろな具体的活用例を教えてください。特に製造業などではないサービス業の事例を知りたい
- 販売面でのDXに関する知識を得たい
- 中小企業でも参考になる成功事例を共有していただけると幸いです

活動への期待

- 具体的な事例の発表に加えて、外部の推進組織の紹介まで踏み込んでもいいのではないかと
- グループワークで課題とその対策についてクイックプロトタイピングなどでシュミレーションすると面白いと思います
- ガイドラインの策定や、先行企業の好事例展開、また協業企業のご紹介などに期待している一方、「アナログであることの良さ」も議論なされることも良いと感じています
- 同友会にどのように委員会の議論の成果を具体的に発信されるのか。多く、知識として吸収するものの、現場に活かされない、活かす気が無い企業が多すぎるのが中京地域の危機的状況であると感じる
- 今後人口減の中で国力を高め、世界でのプレゼンスを高めるためにはDXは必須だと思います。ますますリードしていただきたいと思います

その他

- 議論に加われる機会があれば参加したいと思っています
- 変化の速度が加速化しているので、積極的に新しい動きを紹介していただければ幸いです
- 先日の講習会等、大変勉強になります。有難うございます